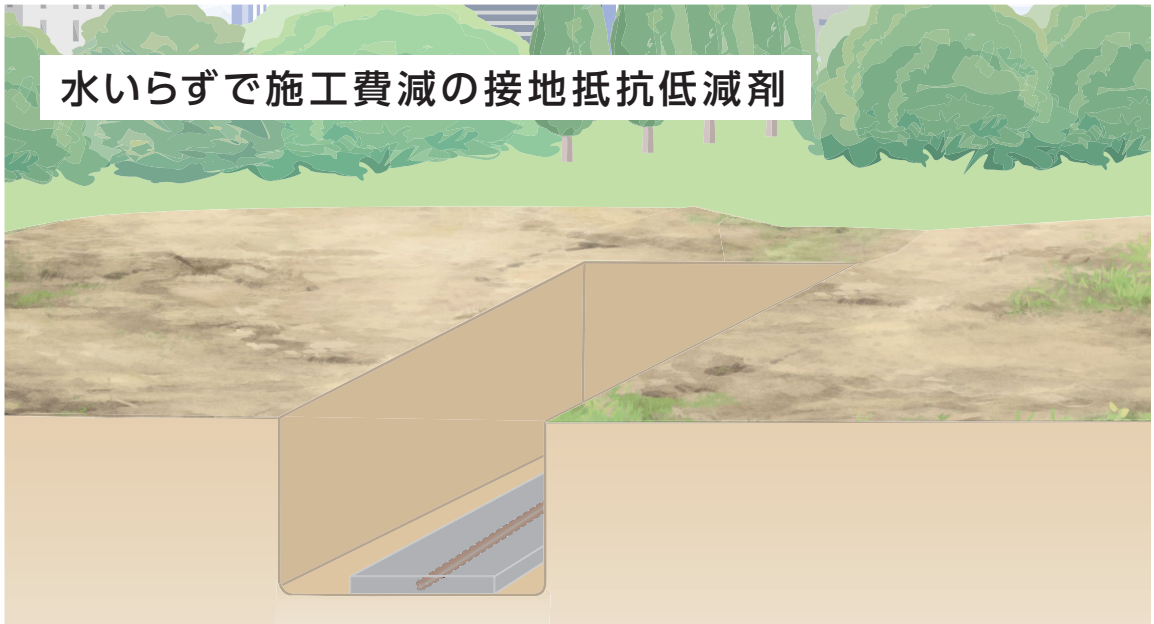
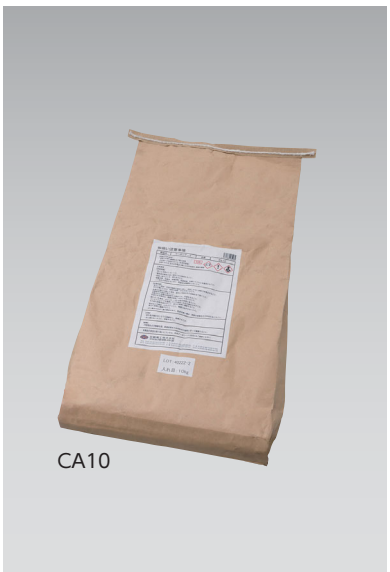
カーボンアース

NEW





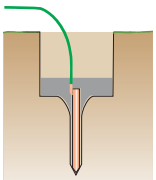
■電線路及び電気機器の接地に用いるアースの接地抵抗の低減を促進します。

POINT

- **水が不要**
  埋め戻し後、土中の水分を吸収して固結するため、水を準備する必要はありません。
- **環境にやさしい**
  組成に有害な物質を含んでいないため、有害物質が水に溶け流れ出すことによる付近の樹木や草花等の環境汚染はありません。
- **施工時間短縮**
  混ぜる等の作業は要らず、まくだけで施工できます。そのまま埋め戻しください。
- **経済性に優れる**
  接地極とカーボンアースのみで施工できるため、材料費・施工費の節減になります。

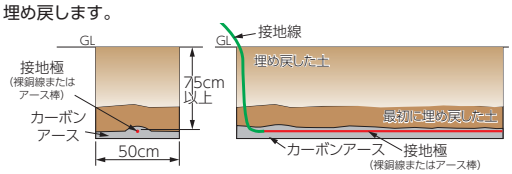
アース棒に施工

アース棒施工後、アース棒の電極部分を覆うように施工します。並列接地で複数本敷設する場合も同様です。



埋設地線工法

規定通り接地極を打設、埋設した後、接地極が隠れるように全体にカーボンアースを敷き詰めてください。その後、カーボンアースが飛散しないように土を静かに被せ(10～15cm程)、埋め戻します。



※カーボンアースは約1mに10kg(1袋)使用します。

施工動画　SDS

用　途

- 一般接地工事(受変電設備等)
- 避雷針用接地
- 携帯基地局、放送アンテナ等の接地
- 鉄塔及び設備機器の接地
- 発電所の接地(メッシュ接地・帯状電極接地)
- 送電鉄塔、配電柱の接地(耐雷型接地)
- 電磁誘導障害防止用接地
- その他設備機器一般の接地

●組成

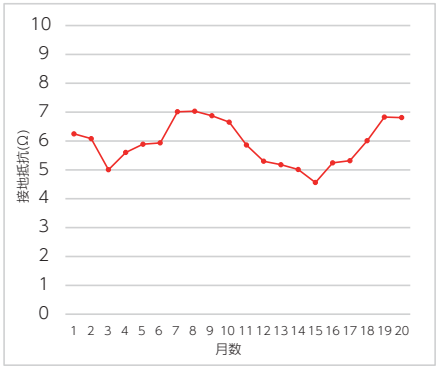
内　容	比　率
ポルトランドセメント	約72%
炭酸カルシウム	約20%
カーボンブラック	約　8%

	種類	ご注文品番	販売単位	梱包数 内	梱包数 外(袋)
新	10kg	**CA10**	1	—	1

新 新製品　受 受注生産品　納 納期確認　生産中止

●カーボンアースの各種データ

カーボンアースの接地抵抗低減効果の変化



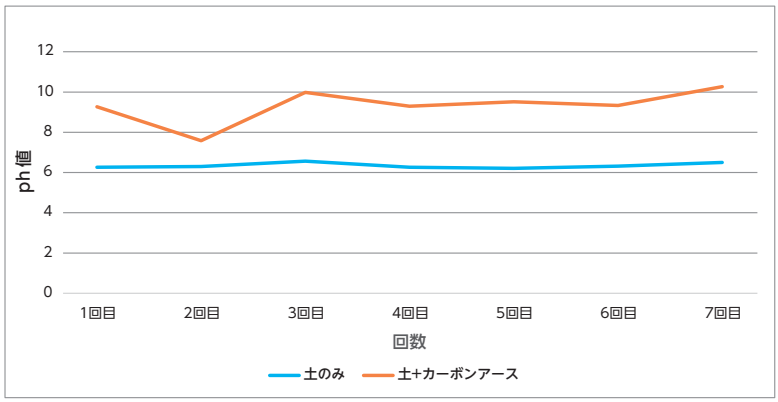
カーボンアースは土中の水分により固化するため、成分が土中に拡散せず、永く一定の効果を持続します。

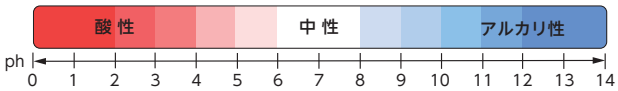
POINT2 pH測定

測定方法 土とカーボンアースを入れた試料と土のみの試料に定期的に純水を投入し、抽出した水分の水質のpH値を測定。

結　果 平均pH値 pH9.32(弱アルカリ性)

pH測定推移

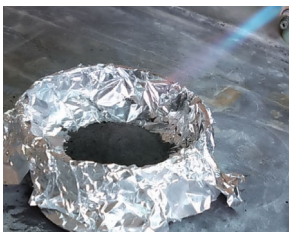




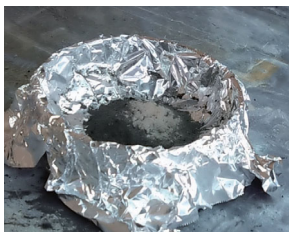
POINT3 燃焼試験

測定方法 適量のカーボンアースをアルミ箔の上に取り出し、バーナーで燃焼し延焼するかを調査。

結　果 バーナーで燃焼させても、赤熱した後、燃えることなく鎮火し延焼しません。


燃焼状況

赤熱状況


試験完了後